

# 「ぎふ農業・農村基本計画」 令和4年度目標達成状況

## ◆基本計画の目標指標数 61指標

- ・基本計画は、令和7年度の目標を設定していますが、進捗管理のために、年度ごとの目標を設定しています。
- ・今回、令和4年度(2年目)の目標に対する実績評価を行いました。

- 全61指標の実績を評価(実績調査中の指標を含む)
  - 主要5指標で単年度目標を達成できたものは、4指標
  - 主要指標以外で単年度目標を達成できたものは、24指標
- ※主要指標を含む全61指標の実績については、別添(資料1-2)に整理

## 主要指標(5指標)の実績

### (1)担い手育成数

### 目標を達成した

R1年度(基準年)	R4年度		R7年度(最終年)
実績値	目標値	実績値	目標値
473人・経営体	880人・経営体	1,084人・経営体	累計2,200人・経営体

### 【評価・分析】

○「ぎふアグリチャレンジ支援センター」による相談から営農定着まで一貫した就農支援や、就農・就業希望者向けの個別相談会の開催等、就農促進に取り組んだ結果、資材価格高騰による独立就農の初期投資の負担増加、農業経営体の規模拡大による労働力需要の増加等を背景に、雇用就農者が大きく増加したことで、目標を達成した。

### 【今後の方針】

○就農研修拠点での経営・マネジメントのカリキュラムの強化など、情勢に応じた対策を講じるほか、コロナの5類移行に伴い、対面での就農相談会や個別相談を積極的に展開し、就農希望者を掘り起こす。

## (2)地産地消率

## 目標を達成できなかった

R3年度(基準年)	R4年度		R7年度(最終年)
実績値	目標値	実績値	目標値
48%	49%	40.3%	52%

### 【評価・分析】

○「清流の国ぎふ」地産地消推進会議で計画した取組み(地域ぐるみで取り組む県民運動の展開、給食等への県産農畜水産物の利用促進、加工食品への県産農畜水産物の利用促進)を推進し、それぞれの取組みで成果(以下参照)があったが、一部の品目(柿、トマト等)で、天候の影響によって、調査対象期間の県産農産物の出荷が減少したため、目標を達成できなかった。

#### ※地産地消の主な取組成果

##### ■地域ぐるみで取り組む県民運動の展開

- ・地産地消ぎふ応援団数 R3 742 → R4 1,468
- ・地産地消フェア開催数 4回/年度
- ・地産地消フェア参加店舗数 延べ704店舗

##### ■給食等への県産農畜水産物の利用促進と食農教育の推進

- ・社員食堂における地産地消メニューフェア 県内3企業
- ・親子バスツアー 実施回数 3回(3地域) ※応募数：334組、参加数：56組

##### ■加工食品への県産農畜水産物の利用促進

- ・6次産業の総合化事業計画数 R3 98 → R4 101
- ・6次産業化商品数 R3 284 → R4 292

### 【今後の方針】

○「清流の国ぎふ」地産地消推進会議を主体としたこれまでの取組みを継続するとともに、新たに、量販店の若手担当者を対象に県内の農業や農産物への理解を深めるため現地交流会を開催するなどして、地産地消の推進強化を図る。

**(3)ぎふ清流GAP実践率****目標を達成した**

R1年度(基準年)	R4年度		R7年度(最終年)
実績値	目標値	実績値	目標値
—	10%	19.2%	35%

**【評価・分析】**

○GAP指導員を188名育成するとともに、GAPの相談窓口として清流GAP推進センターを設置し、指導体制を強化したほか、生産者交流大会等における先進的なGAP取組みの横展開や、GAPの導入に必要な検査及び機器整備の支援により、清流GAP認証数が74件に拡大し、目標を達成した。

**【今後の方針】**

- 74件の認証のうち、産地認証は7件に留まっているため、産地単位のGAP指導ができる組織評価員を継続的に育成し、産地への指導体制を強化する。
- 大阪・関西万博では、国のガイドラインに準拠した都道府県GAPによる農産物が優先的に供給される見込みのため、万博を追い風にGAPの拡大を推進する。

**(4)飛騨牛の輸出量****目標を達成した**

R1年度(基準年)	R4年度		R7年度(最終年)
実績値	目標値	実績値	目標値
51.7t	70t	80t	100t

**【評価・分析】**

○協力覚書を締結する豪州の大手食肉卸の飛騨牛産地への招聘や、県農林水産物輸出促進協議会と連携した台湾での継続的なフェアの開催などが功を奏し、特に豪州や台湾などで輸出量が増加したことにより、目標を達成した。

**【今後の方針】**

- 更なる輸出拡大に向け、和牛ニーズが高いアジア・欧米諸国をターゲットに対面でのプロモーションを展開する。

## (5)地域防災力の向上に取り組むため池数

目標を達成した

R1年度(基準年)	R4年度		R7年度(最終年)
実績値	目標値	実績値	目標値
—	87箇所	90箇所	累計270箇所

### 【評価・分析】

○災害の予測から発生までのため池管理者、市町村、県の対応や住民への情報伝達を明確化した「ため池防災行動計画(タイムライン)」を岐阜市ほか14市町の60箇所で作成し、行政や地域住民が参加するDIG(災害図上訓練)を可児市で1回開催したことにより、累計90箇所となり、目標を達成した。

### 【今後の方針】

○地域防災力の向上に取り組むため池数を増加させるには、地元の協力が不可欠であり、地元調整等を密に行うとともに、引き続き、防災行動計画やDIGの優良事例を他地域に横展開し、地域住民の防災意識の向上を図る。